



平成30年4月18日

各位

会社名 株式会社イーブック
イニシアティブジャパン
代表者名 代表取締役社長 小出 斉
(コード番号: 3658 東証第一部)
問い合わせ先 執行役員 コーポレート本部長 辻 靖
(TEL. 03-3518-9544)
当社の親会社 ソフトバンクグループ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 孫正義
(コード番号: 9984 東証第一部)
当社の親会社 ヤフー株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮坂 学
(コード番号: 4689 東証第一部)

通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想に関するお知らせ

株式会社イーブックイニシアティブジャパン（以下、「当社」）は、平成29年4月24日に公表しました「平成30年3月期の通期連結業績予想」を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

併せて、通期個別業績の予想値については、平成29年4月24日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」公表時点では開示を省略しておりましたが、今般、前期実績値との対比においてその差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	10,500	200	200	125	22.63
今回修正予想(B)	11,882	245	251	160	28.95
増減額(B-A)	1,382	45	51	35	
増減率(%)	13.2	22.6	25.8	28.2	
(参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	11,982	17	14	11	2.16

(注) 前期(平成29年3月期)は決算期の変更(1月31日から3月31日)に伴い、平成28年2月1日から平成29年3月31日までの14ヶ月の変則決算となります。

(2) 連結業績予想の修正理由

売上高は、平成 29 年 4 月より開始した、ヤフー株式会社の運営する「Yahoo!ブックストア」の店舗運営の受託が順調に進展したこと、及びクロスメディア事業において大手 EC モールにおける紙・DVD の販売が堅調に推移したこと等を受け、前回予想を上回る見通しです。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高の増加や広告宣伝投下の効率化等の結果、前回予想を上回る見通しです。

2. 通期個別業績予想について

(1) 平成 30 年 3 月期通期個別業績予想（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益（円）
前期実績（A）	9,635	82	△73	△14.03
今回発表予想（B）	11,882	277	152	27.60
増減額（B－A）	2,247	195	226	
増減率（％）	23.3	235.4	—	

（注）前期実績は決算期の変更（1 月 31 日から 3 月 31 日）に伴い、平成 28 年 2 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 14 ヶ月の変則決算となります。

(2) 前事業年度実績との差異が生じた理由

売上高については、平成 29 年 4 月より開始した、ヤフー株式会社の運営する「Yahoo!ブックストア」の店舗運営の受託が順調に進展したこと、及びクロスメディア事業において大手 EC モールにおける紙・DVD の販売が堅調に推移したこと等を受け、11,882 百万円となる見通しです。

経常利益については、売上高の増加や広告宣伝投下の効率化等により、277 百万円となる見通しです。また、当期純利益については、前期に計上した固定資産の減損損失、関係会社に係る特別損益等の一過性の要因がなくなったこと等を受け、152 百万円となる見通しです。

（業績予想に関する注意事項）

本資料に記載しております予想数値は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上